

一般財団法人 先端加工機械技術振興協会

2021年度事業報告書

2021年4月01日から2022年3月31日まで

諸事業を一層充実する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐための各種の政策等の発出と、それに伴う各方面の活動自粛にもかかわらず、収束の見通しが立たなかったため、当協会の諸事業も前年度と同様に少し縮小せざるを得なかった。

I 先端加工機械技術に関する研究助成

前年度は助成申請件数がわずか5件であったが、本年度は12件の申請があった。8月下旬から各審査委員による事前の書面審査を行っていただき、9月下旬に事前審査結果を基に全審査委員がリモートで意見交換を行い、厳正かつ慎重な審議を行った結果、下記の9件が本年度の助成対象の候補と決まった。10月上旬に理事長の承認を得て正式決定し、11月に研究助成金（9件総額628万円）を申請者の所属機関に送付した。

- ① 「超音波照射下の水中高速噴流を用いた技術による新材料表面の創製」
・井尻 政孝氏 （東京都立大学 助教） （70万円）
- ② 「局部直接接触加熱によりテーラードテンパリングされた1.5Gpa級超高強度鋼板の加工性向上」
・安部 洋平氏 （豊橋技術科学大学 准教授） （70万円）
- ③ 「切削油自己吸引ドリル加工の開発」
・内山 光夫氏 （関東学院大学 教授） （68万円）
- ④ 「ダイレス打抜きによる微細異形穴あけ加工技術の開発」
・江頭 快氏 （京都工芸繊維大学 准教授） （70万円）
- ⑤ 「複数の高耐ノイズ光ファイバセンサを組み込んだエアータービンスピンドルの開発」
・村上 洋氏 （北九州市立大学 准教授） （70万円）
- ⑥ 「金属積層造形における原料粉末の金属融体粘性と積層造形品質の解明」
・伊藤 勉氏 （富山県立大学 准教授） （70万円）
- ⑦ 「焼結型FFF方式金属3Dプリンターによるチタンアルミ金属間化合物造形技術の開発」
・清水 透氏 （東京電機大学 特別専任教授） （70万円）
- ⑧ 「強制薄膜反応場の設計による発光性ナノ粒子の大量加工技術の開発」
・佐藤 亮太氏 （山形大学 大学院生） （70万円）
- ⑨ 「指向性エネルギー堆積法（DED法）における高熱伝導性Cu系材料の造形技術の開発」
・中本 貴之氏 （大阪産業技術研究所 研究室長） （70万円）

II 先端加工機械技術の動向に関する調査研究

今後の我が国のものづくり産業の基盤となる先端加工機械技術の動向調査を実施するとともに、加工関連の企業（主に中小規模企業）・団体（地方公設機関等）・個人を活性化・強化することを目指して平成27（2015）年に設置した「先端加工研究会」は、企業14社、個人5名となったが、コロナ禍未収束のため本年度は残念ながら会員が集まったの研究会を開催することができなかった。しかし、メール等を活用して関連分野の表彰制度や各種補助金公募に関する情報提供や相談など、会員間の情報交換は活発に行った。

また、新鋭経営会（前会長：大阪大学・神戸大学名誉教授の岩田一明氏）の「知恵経営サロン無関」に協賛して、開催されたリモート講演会の案内を先端加工研究会の会員に送った結果、かなりの会員が適宜参加して、さまざまな情報を得ている。

III 研究成果等の普及

（1）機関誌の発行

最新技術の紹介、研究助成の成果、「元気なものづくり中小企業」訪問記等を掲載する機関誌「先端加工技術」を例年通り3回発行し、各方面に配布した。

第114号：2021年8月「3Dプリンターの砂型造形への適用による鋳造技術の高度化」

巻頭言、技術紹介4件

第115号：2021年11月「切削・研削液等における加工支援の現状技術と展望」

巻頭言、技術紹介4件、令和元年度研究助成成果報告4件

第116号：2022年3月「塑性加工技術の最前線と展望」

巻頭言、技術紹介4件、令和元年度研究助成成果報告4件

（2）先端加工技術講演会の開催

例年通り2月頃に開催の計画であったが、コロナ禍未収束のため開催を断念した。

IV その他

加工技術に関連する各種団体等が主催する行事に協賛するとともに、各種委員会に委員として参加し、加工技術の発展と普及に努めた。

V 管理運営について

1. 理事会

（1）第18回理事会

2021年6月11日（金）、書面審議により提出議案の審議並びに報告を行った。

- ・令和2（2020）年度事業報告及び決算
- ・令和3（2021）年度確定収支予算
- ・公益目的支出計画実施報告書等

- ・第9回定時評議員会の開催
- ・令和元年度研究助成の成果報告
- ・職務執行状況報告

(3) 第19回理事会

2022年3月14日(月)、書面審議により下記の提出議案を審議していただいた。

- ・令和3(2021)年度事業報告および決算見込(中間報告)
- ・令和4(2022)年度事業計画および収支予算案
- ・職務執行状況報告

2. 評議員会

(1) 第9回評議員会

2021年6月25日(金)、書面審議により下記提出議案を審議していただいた。

- ・令和2(2020)年度事業報告及び決算
- ・令和3(2021)年度確定収支予算
- ・公益目的支出計画実施報告書等
- ・令和元年度研究助成の成果報告

3. 委員会

(1) 研究助成審査委員会

2021年度の研究助成対象者を選考するための研究助成審査委員会(6名で構成)は、8月下旬からの事前書面審査の結果を基に9月下旬にメールで意見交換して、9件助成について全員合意を得ることができた。

(2) 機関誌編集委員会

コロナ禍拡大防止のために、編集委員4名と事務局2名で、編集委員会をオンラインで下記の通り3回開催した。本年度も経費節減のため、自主的編集作業を行った。

- ・第1回編集委員会：2021年6月
- ・第2回編集委員会：2021年7月～8月
- ・第3回編集委員会：2022年1月

4. その他

1. 2021年6月30日付で、内閣府に公益目的支出計画実施報告書等を提出した。
2. 賛助会員：2022年3月31日現在の会員数は2社(3口)である。

以上

内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。